

平成 26 年 3 月 11 日

公益財団法人日本卓球協会
WASURENAI 3.11 チーム
担当理事 高橋 和博
リーダー 古市 智子

平成 25 年度活動報告

(1) 「WASURENAI 3.11」

震災復興支援のスローガンとして掲げてきた「WASURENAI 3.11」。

本年度も継続的に全国大会会場にて横断幕を掲出し、日本代表選手はこのロゴを競技ウェアに付け、復興の願いを込めて世界選手権大会並びに国際大会に出場した。

(2) 復興に向けた支援金

- | | |
|---|-------------|
| ①第 26 回全国ラージボール卓球大会の参加料の一部 | 300,000 円 |
| ②平成 25 年度～27 年度の 3 年間、復興 4 県（岩手、宮城、福島、茨城）を除く、43 都道府県登録会員にご協力をお願いした「震災復興支援金」（3 月 5 日現在分） | 5,862,892 円 |
| ③日本リーグ大会募金、荻村杯クリアファイルの制作費を除く売上金、女子ワールドカッププログラム売上金 | 706,595 円 |
| ④解約済み義援金口座残金 | 1,001,708 円 |
- 以上の合計 7,871,195 円を、岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会、茨城県卓球連盟に以下の通り分配した。
- | | |
|--------------------------|---------------|
| ・岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会 | 各 2,581,395 円 |
| ・茨城県卓球連盟 | 127,010 円 |
- ※茨城県卓球連盟からはご辞退のお申し出があったが、『J A 全農 2014 年世界卓球団体選手権東京大会』開催時の支援交流イベント費用の一部として、お受け取りをお願いした。

(3) 大会支援

岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会、茨城県卓球連盟の 4 県が主催する『<絆>卓球交流大会』は今年度で開催 3 年目を迎え、協和発酵キリン(株)様のご協賛をいただいて平成 25 年 4 月 27 日～28 日に岩手県花巻市で開催した。

(平成 26 年度も引き続き協和発酵キリン(株)様ご協賛のもと、福島県猪苗代町にて 4 月 26 日～27 日に開催予定)

(4) その他支援

- ①福島県卓球協会からのお申し出により、天皇杯・皇后杯平成 25 年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）に、避難区域在住者を優先とした小学生、中学生、引率者の約 50 名を招待した。
- ②平成 25 年度～27 年度の 3 年間、復興 4 県（岩手、宮城、福島、茨城）を除く 43 都道府県登録会員に「震災復興支援金」のご協力をお願いした。

(5) 今後の取り組み

本チーム名を「WASURENAI 3.11 チーム」と改称し、今後も復興支援のサポートに努めた協会事業を進める。

以上